

Linux コマンド入門 & 使いこなし術②…便利機能編

国野 亘

表1 Linuxのヘルプ機能・マニュアル機能

| 種類 | 機能 | 備考 |
|-----------------|-----------------------|--------------------|
| helpコマンド | Bashシェル用のヘルプ機能 | Bashが処理するコマンドのみ |
| コマンド組み込み --help | コマンドに組み込まれているヘルプ機能 | 概要やオプションの確認に便利 |
| manコマンド | UNIX時代から使われている標準マニュアル | 最も普及している詳細マニュアル |
| man builtins | Bash組み込みコマンドのマニュアル | helpコマンドよりも詳しい |
| info | かつてのLinux標準マニュアル | manコマンドよりも詳しい場合がある |

便利機能①…Linuxコマンドのヘルプとマニュアル

● 複数のヘルプ・マニュアル機能を使い分けよう

Linuxコマンドの使い方を調べたいときにはヘルプ機能やマニュアル機能を使用します。Linuxコマンドには多くのオプションや引数(パラメータ)があります。多少の規則性(慣習)はあるものの、全てを覚えるのは困難です。そのため、調べながら利用するための機能が備わっています。しかし、調べる方法が複数あり、方法によって表示結果が異なる場合や表示されない場合があります。これら複数の方法を使い分けることで、調べたい情報をよりスムーズに得られるようになります。

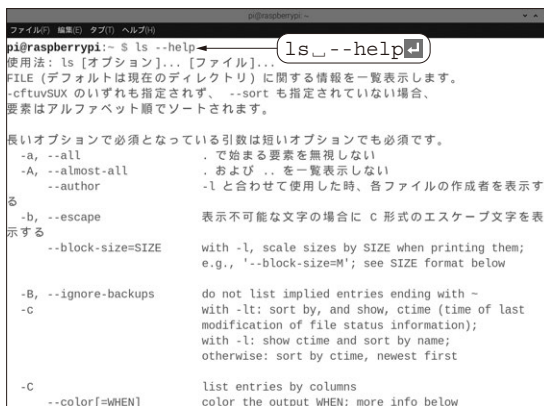
Linuxコマンドのヘルプ機能やマニュアル機能には、表1のような複数の方法があり、コマンドや用途に合わせて使い分ける必要があります。

● その①…シェルのヘルプ機能「help」

初めに紹介するのはBashのコマンド一覧を表示するヘルプ機能です。Bashとは、コマンド・プロセッサの1つで、Raspberry Pi OSのログイン・シェルとして採用されています。次のコマンドを実行します。

```
pi@raspberrypi ~ $ help
```

スクロールにより表示できなかった部分は、マウス



```

pi@raspberrypi:~$ ls --help
ls [オプション]... [ファイル]...
使用方法: ls [オプション]... [ファイル]...
FILE (デフォルトは現在のディレクトリ)に関する情報を一覧表示します。
-cftuvSUXのいずれも指定されず、--sortも指定されていない場合、
要素はアルファベット順でソートされます。

長いオプションで必須となっている引数は短いオプションでも必須です。
-a, --all                . で始まる要素を無視しない
-A, --almost-all       . とおよび .. を一覧表示しない
--author                -l と合わせて使用した時、各ファイルの作成者を表示する
-b, --escape            表示不可能な文字の場合に C 形式のエスケープ文字を表示する
--block-size=SIZE      with -l, scale sizes by SIZE when printing them;
                        e.g., '--block-size=M'; see SIZE format below
-B, --ignore-backups   do not list implied entries ending with ~
-lt, --long             with -lt: sort by, and show, ctime (time of last
                        modification of file status information);
                        with -li: show ctime and sort by name;
                        otherwise: sort by ctime, newest first
-C                      list entries by columns
--color[=WHEN]         color the output WHEN; more info below
  
```

図1 Linuxコマンドのヘルプ機能の一例

コマンドに--helpを付与するとLinuxコマンドの使い方(要約マニュアル)が表示される

のスクロール・ダイヤルまたは、ウィンドウ右端のスクロール・バーを操作します。また、helpコマンド名で、一覧のコマンドのやや詳細な情報が得られます。しかし、例えばlsやcpなど、多くのLinuxコマンドは表示されません。このhelpコマンドは、Bashそのものが処理する組み込みコマンドにしか対応していないからです。

● その②…コマンド組み込みヘルプ機能

「--help」

次に紹介するのは、実行するコマンドに組み込まれたヘルプ機能です。図1のように、コマンド名にコマンド・オプション--helpを付与して実行すると、そのコマンドの要約マニュアルが表示されます。

例えば、lsコマンドを調べたいときは、次のようにlsコマンドに続けて--helpを付与します。

```
pi@raspberrypi ~ $ ls --help
```

ただし、Bash組み込みコマンドや、一部のコマンドについては表示されないこともあります。また、まれに--helpではなく-hで表示される場合もあります。とはいえ、-hは他の機能に割り当てられていることもあり、どちらかといえば--helpの方が一般